

第37回日釣連グレ釣りトーナメント大会 優勝 大阪府釣連盟 鮎澤 拓也



大阪府釣連盟の鮎澤です。

今年も運よく大阪代表として今大会に出場することができました。大会会場も宇和島の湾内ということで、私が第二のホームと勝手に思っている大好きなフィールドです。



初日は湾内の波止を使っのリーグ戦でした。

一試合目は少し深タナ狙いが功を奏し良型を揃える事ができ、何とか勝つことができました。

二試合目はアジが多く前半は大きくリードされていましたが、後半に大きめのむき身を使ったパターンがハマリ良型の入れ替えに成功。僅差で逃げ切れました。

三試合目はグレの反応が非常に悪く2、3匹ほどしか釣ることができませんでしたが1匹30センチオーバーが混じったおかげで勝てました。

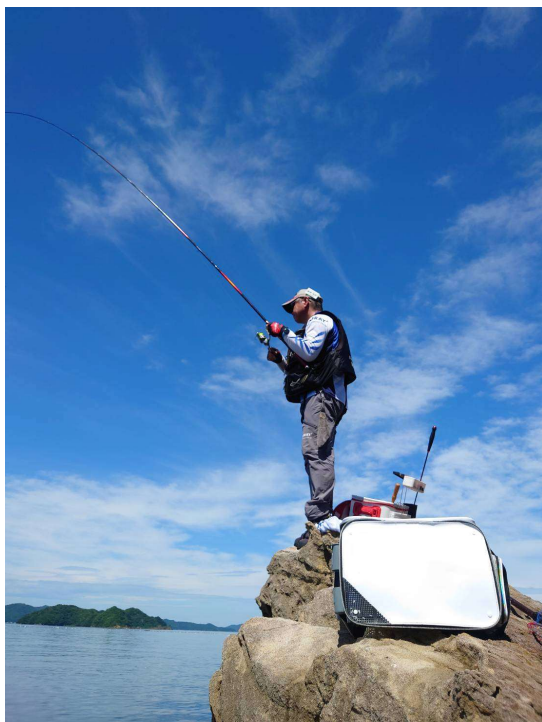
2日目は湾内の磯場を使っの試合でした。



準々決勝は一緒に来た同じクラブの船越君と灯台の横での試合となりました。この場所は遠投勝負と思っていたので普段チヌ釣で使う大き目のウキを使って相手選手より沖目を狙うようにしました。ここでも狙いがバッチリハマリ勝利できました。



準決勝は兵庫代表の加藤さんとマサカバエでの試合となりました。例年なら数もサイズも期待できる場所ですが、今回は本当に厳しい状況でした。前半に加藤選手がタモ入れサイズを2.3匹釣っておられるのに対し私は手のひらサイズしか釣れません。後半も残り時間10分位までは中々入れ替えもできず半ばあきらめていましたが、気合を入れなおして集中！最後の最後に何とか数枚の入れ替えに成功。検量するまで負けていると思っていましたが僅差でなんとか勝利できました。



決勝戦は池田選手と立石バエで行いました。



池田選手とは数年前の決勝戦で対決しましたが見事なまでに完敗させられた苦い思い出があります。正直あまり勝てる気はしませんでした。自分の釣りを徹底しようと遠投の少し深めのタナを終始狙っていました。



立石バエも普段なら釣り合いになる場所ですが、グレの活性は非常に悪く中々思ったようには釣れませんでした。遠投深めのタナがよかったのかなんとか良型を揃える事ができました。



今回は釣り座の入り順もよくななんとか僅差で勝利し、前回のリベンジを果たすことができました。



役員の皆様、選手の皆様、ポーターをしてくれた松崎選手、今大会の運営や段取り等本当にありがとうございました。楽しい釣りのできたことに感謝いたします。